



2026年3月30日

各位

会社名 株式会社ノバック  
代表者名 代表取締役社長 大谷 敏博  
(コード:5079、東証スタンダード市場)  
問合せ先 取締役管理本部長兼経理部長  
中末 浩一  
(TEL. 079-288-3601)

「ESG/SDGs 推進分析シンジケーション」に基づく  
財務上の特約が付された融資契約の締結に関するお知らせ

当社は、2026年3月30日開催の取締役会において、下記の通り財務上の特約が付された金銭消費貸借契約(以下「本契約」といいます。)を締結することを決議しましたので、お知らせいたします。

記

1. 本契約の締結を行う理由

2025年7月15日付「(開示事項の経過) 本社新社屋建設(固定資産の取得)に関するお知らせ」にて公表いたしました、本社新社屋建設資金の調達を目的としたものであります。

2. 本契約の内容

(1) 組成金額	46億円
(2) 契約締結日	2026年3月31日(予定)
(3) 契約形態	ESG/SDGs 推進分析シンジケーション(コミット型シンジケートローン)
(4) 契約期間	2026年3月31日~2048年3月31日
(5) 資金用途	設備資金
(6) 借入金利	基準金利+スプレッド
(7) 担保の有無	不動産担保、無保証
(8) 参加金融機関	株式会社三井住友銀行(アレンジャー兼エージェント)、株式会社三菱UFJ銀行(コ・アレンジャー)、株式会社みなと銀行、株式会社トマト銀行、姫路信用金庫、兵庫信用金庫、株式会社中国銀行、株式会社伊予銀行、株式会社山陰合同銀行、株式会社百十四銀行、西兵庫信用金庫
(9) 財務上の特約	① 2026年4月期末日及びそれ以降の各事業年度末日における連結貸借対照表に記載される純資産の部の合計金額を、2025年4月期末日における連結貸借対照表に記載される純資産の部の合計金額の75%に相当する金額、又は直近の事業年度末日における連結貸借対照表に記載される純資産の部の合計金額の75%に相当する金額のうち、いずれか高い方の金額以上に維持すること。 ② 2026年4月期末日及びそれ以降の各事業年度末日における連結損益計算書に記載される経常損失を2期連続して損失としないこと。

### 3. ESG/SDGs 推進分析融資について

株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所が作成した独自の評価基準に基づき、企業の ESG 側面の取り組みや情報開示、SDGs（持続可能な開発目標）達成への貢献を評価し、取り組みや情報開示の適切さについての現状分析、今後の課題、課題への取組事例などについて還元を受けるものです。推進分析の評価結果として、当社は、企業経営において一定の ESG 配慮及び SDGs 達成に向けた取り組みと情報開示を実施されていると評価を受けております。

### 4. 今後の見通し

本件による 2026 年 4 月期の当社連結業績に与える影響は軽微であると判断しております。今後、開示すべき事項が発生した場合には速やかにお知らせいたします。

以 上